

日本情報安全管理協会認証 (JILCoM)

電波探知器 アールソナー 取扱説明書

取扱説明書番号 9YYA09

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 故障や破損した場合は、現品交換で対応させていただきます。
- 保証期間が過ぎている場合や故障や破損の原因がお客様に起因する場合は、有償になります。
- 生産中止後1年を過ぎた場合または補修部材の在庫が切れた場合は、対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「9YYA09」をお伝えください。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)


(Y0810)


安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について


 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

分解禁止

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
ケース、回路や電池の品質が低下することがあります。

- 温度が+40℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が0℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

保証について

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
- 電池の交換

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

- アフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
- This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

おもな製品仕様

使用温度範囲 0 ~ 40℃

使用電池 単3形アルカリ乾電池
(JIS規格 LR6) 2個

電池寿命 連続使用 約20時間
(無信号時)

電源スイッチ ONで電源ランプ緑色点灯(LED)

受信周波数 100MHz ~ 450MHz

受信方式 シングルスーパーヘテロダイン方式

トーン周波数 820Hz

(探査音)

インジケータ 本機と盗聴器との相対的な距離を3段階でLED表示

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

取扱説明書・保証書 本書

電池のご注意 (電池の正しい使い方)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう


- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。


取り扱いについて


電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 使用しないときは電池を取り外す。

注意

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。



火に入れると破裂の原因となり危険です。

注意

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

はじめに

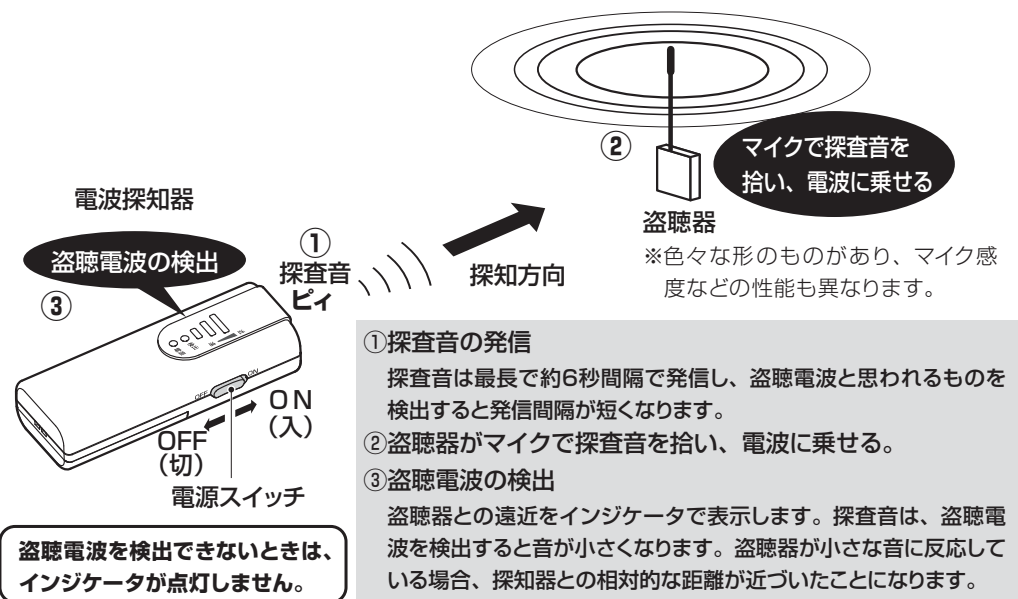
盗聴器には、有線式、無線式などいろいろな種類のものがあります。

本機は、アナログFM無線式に対応しています。

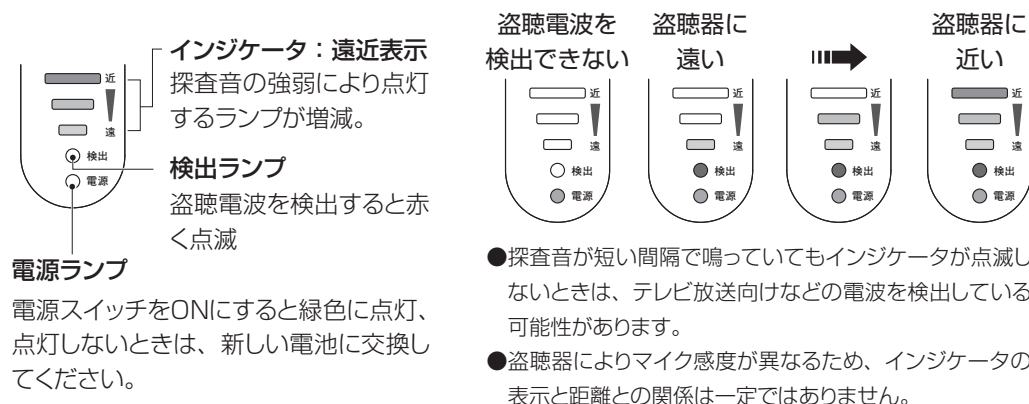
無線式盗聴器には、デジタル式やスクランブル方式など特殊な方式を用いたものもあり、本機で発見できない場合があることをあらかじめご了承ください。

電波探知のしくみ

○本機から発せられた探査音を盗聴器が拾い、電波として送信します。本機は電波に乗った探査音を検出します。



〈インジケータの見方〉



〈電池の取り扱い〉

電池は使用するときにに入れてください。長期間入れたままにすると、電池からの液もれが発生し、故障や家具などを汚す原因になります。

電池を入れるときは、電池ふたを⇨方向にスライドさせ、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れ、電池ふたを⇦方向にスライドさせて取り付けてください。

※使い終わったら電池を取り出してください。

参考 盗聴器の種類と設置場所

電池内蔵タイプ

電池を内蔵するタイプは、基本的にどこにでも設置可能ですが、寿命が限られます。

- 家具やぬいぐるみ、文房具などのありふれたものに隠されている場合
- 電卓や時計などに偽装された盗聴器
- 天井裏やブラインド、カーテンレールなど見えにくいところ
- 郵便受けの内側など外部から容易に取り付けられるところ

寄生タイプ

家庭用電源や電話回線などから電源を取るタイプで、設置される場所が電源のある場所に限られますが、一度設置すれば半永久的に盗聴電波を発信し続けます。

- 電気を使用する製品の中
照明器具、エアコンなどの家電製品
- コンセント、配電盤関連
埋め込み式コンセント、三又コンセント、電源延長ケーブル、照明スイッチなど
- 電話機
電話機内、ローゼット / モジュラー、保安器 (屋外)

※ここに記載したものは一例です。

ご注意



コンセントなどを取り外して内部を調べたり、発見された盗聴器を取り除く場合は、専門知識や資格が必要な場合があります。特にAC電源を使用している機器の場合は、取り扱い方を間違えると、感電や機器の故障につながる可能性があります。

電気配線・設備

第2種電気工事士の資格がないと電気配線・設備に隠された盗聴器を外すことも、詳しく調査することも出来ません。電気工事店などにご相談ください。

電話の保安器

電話の保安器の取扱いにはアナログ第三種工事担任者の資格が必要です。お近くの電話局などにご相談ください。

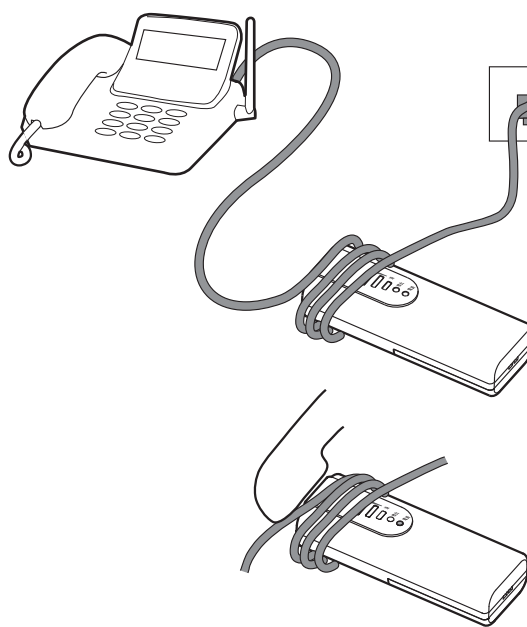
複数の探知器を使用しない



本機を近くで複数使用すると、盗聴電波の分析ができなくなります。これは、窃聴器が複数の探査音を拾ってしまうからです。

固定電話の探査

アナログ式固定電話の盗聴器を調べるときは、下図のようにしてください。



① 電話機とモジュラーまたはローゼットをつなぐケーブルを本機に3回程度巻きつける。

② 本機の電源スイッチをONにして、受話器の送信口を本機に近づける。

③ 数秒間待つ



電話機、モジュラーまたは電話線上に盗聴器がある。

基本的な使い方

本機に電池を入れ、電源スイッチをONにすると探査音が「ピー」と鳴り、盗聴電波の検出を開始します。

本機を窃聴器がありそうなところに向けてゆっくり近づけます。

② 窃聴器が作動している場合

- ▶ 探査音が短い間隔で発せられます。
- ▶ 探査音は窃聴器に近づくと小さな音になります。
- ▶ 検出ランプが点滅し、窃聴器に近づくとインジケータの表示が多くなります。

③ 窃聴器が見つからない場合

- ▶ 間欠的に探査音が「ピー」と鳴ります。

盗聴器発見のポイント

- 窃聴器が探査音を拾いやすくするため、静かな環境にする。
- 盗聴電波を検出した場合は、本機の向きを変えながら、より強く反応するところに本機を近づけ、場所や仕掛けられたものを特定する。
 - ▶ 窃聴器が壁面などに反射した探査音を拾うことがあります。本機をいろいろな方向にゆっくり向け、インジケータの状態をよく確認してください。
- 対象物を限定しないで部屋の中にあるものや出入り口付近をゆっくり丹念に調べる。
- リモコンにより窃聴器の電源をON/OFFする種類のものがあります。電源がOFFのときは電波を発信しないため、日を変えたり、時間帯を変えて調べる。
- 家電製品に窃聴器が仕掛けられた場合、家電製品の電源スイッチがONのときのみ盗聴電波を出すタイプもあるので、家電製品の電源スイッチをONにして調べる。